

市内2遺跡は追加登録へ

「平泉の文化遺産」

5資産で23年登録を目指す

平成20年7月の世界遺産登録を目指して活動してきた、市内の白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡を含む「平泉の文化遺産」。同年7月の「登録延期」決定後、市は23年の再登録に目標を切り替え、国や県、平泉町、一関市とともに準備を進めてきました。しかし4月23日に平泉文化遺産センターで行われた国と県、3市町の代表者会議で「23年の世界遺産登録は、市内2遺跡を含む4資産を除いた、5資産で先行登録を目指す」との方向性が決まりました。残りの4資産は調査・研究を優先し、準備が整い次第、追加登録を目指すことになりました。



住民向け説明会で、今回の経緯について説明する文化庁の三谷卓也世界文化遺産室長（衣川・川東公民館）

昨年7月の第32回世界遺産委員会で「平泉の文化遺産」が「登録延期」となったのを受け、市は文化庁の指導の下、県や平泉町、一関市と協力しながら、23年の世界遺産登録を目指して準備を進めてきました。

この準備作業の中で、国内の専門家で構成する「推薦書作成委員会」により、「平成23年の登録を確実なものとするためには、申請は中尊寺・毛越寺・無量光院跡・金鶏山・柳の御所遺跡の5つの資産で臨み、白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡（以上奥州市）は、達谷窟（平泉町）・骨寺村莊園遺跡と農村景観（一関市）とともに、調査・研究を最優先し、整理ができた段階で追加登録を申請すべき」との意見が出されました。



市民の間でも大きな盛り上がりが見られるようになりました。このような経緯を振り返ると、「構成資産の絞り込み」という推薦書作成委員会の意見は極めて残念なものです。また、周辺住民向けの説明会を開催し、市民の皆さんのご意見を伺ってききましたが、その多くは「次回も9つの資産で挑戦して欲しい」という励ましの言葉でした。

市としては、これまでの9資産がそろって、はじめて「平泉の文化遺産」の価値が正しく理解されると信じています。しかしながら、「平泉」が23年に確実に登録されることが、残る4資産の登録実現につながるということも理解できます。市は今回の提案について、国による技術的指導や財政支援を前提にした上で、この「資産の絞り込み」を受け入れる、苦渋の選択をすることになりました。

文化庁が示したスケジュールによると、市内2遺跡の世界遺産への追加登録は最短で平成26年。23年の世界遺産登録を期待していた市民の皆さんには大変申し訳ございませんが、登録の早期実現に向け、市はこれまで以上に力を注いでいきます。

引き続きご理解と応援をいただきますようお願いいたします。

■問い合わせ 本庁世界遺産登録推進室（前沢総合支所内線312、313）

史跡案内所をご利用ください

市は本年度も、白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡に史跡案内所を開設しました。

■開設日時 11月3日（祝）までの土日祝日と11月2日（月）午前10時～午後4時

■設置場所 白鳥館遺跡史跡駐車場（白鳥地区防災センター隣）、長者ヶ原廃寺跡史跡駐車場

危険業務従事者叙勲、春の叙勲の受章

おめでとうございます



瑞宝双光章（防衛功労）
及川裕道さん（61）
水沢区秋葉町

昭和41年の海上自衛隊入隊後、給食業務や調達業務などに当たったほか、後進の指導にも努めました。物資を瞬時に取り出せる自動化倉庫の導入に携わり、円滑な業務遂行のために活躍されました。



瑞宝双光章（警察功労）
角掛義男さん（73）
胆沢区小山字龍ヶ馬場

警察官として主に交通畑をわたり歩き、手品や川柳を交えた交通安全講習会を行うなど、さまざまなアイデアを取り入れて業務に励みました。現在は趣味の川柳を楽しむ傍ら、シニアパトロールにも取り組んでいます。

警察官など危険な職務に長年従事した人に贈られる危険業務従事者叙勲と、顕著な功績を挙げた人などに贈られる春の叙勲の受章者が4月に発表されました。市内からは、合わせて8人がその栄誉に輝いています。受章おめでとうございます。



瑞宝双光章（地方自治功労）
高橋松男さん（73）
水沢区佐倉河字彼岸田

地元の声に推されて立候補した昭和62年の初当選以来、5期にわたって旧水沢市の市議会議員を務めました。平成16年からは、旧水沢市最後の議長として市町村合併に取り組み、奥州市誕生に尽力されました。



瑞宝双光章（警察功労）
菊地隆さん（73）
江刺区八日町一丁目

「特にこれと特別なことをやっていない」と謙遜することばに人柄がにじみ出る菊地さん。昭和30年の大船渡警察署勤務を皮切りに交番などで長年勤務し、地域に親しまれる警察官として職務を全うしました。



瑞宝単光章（警察功労）
石川兵治さん（73）
水沢区黒石町字鶴城

昭和35年福島県警入り。警察官人生の3分の2が交番などの地域課勤務。家族ぐるみで地域住民と向き合いました。持ち前の正義感から「生まれ変わっても警察官の制服を着たい」と笑顔で語ってくれました。



瑞宝単光章（消防功労）
渡邊榮一郎さん（85）
胆沢区若柳字上壺刈窪

「現場にすぐ駆け付けられたのは、素早く支度を用意してくれた妻のおかげ」と内助の功に感謝する渡邊さん。昭和26年の消防団入団後、長年にわたって地域の防火・消火活動に当たり、住民の暮らしを守ってきました。



瑞宝単光章（教育功労）
山折昭磨さん（75）
水沢区字東町

昭和46年からあけぼの幼稚園の園長として幼児教育に力を注ぐほか、県私立幼稚園連合会の会長なども務めてきました。「幼児教育は子どもを褒めるところから始まる。受章は素直にうれしい」と喜びを語りました。



瑞宝単光章（統計調査功労）
山内清松さん（86）
江刺区伊手字中浅倉

統計調査員として、長年国勢調査などに従事してきました。戦後間もないころは、耕作面積を尋ねても働く人の人数で答えられたり、隠したがったりする家庭が多く苦労したとのこと。現在は、野菜作りに日々励んでいます。